

No.11 クリニカルパス適用率について



P（PLAN：課題設定）

- ・クリニカルパス適用率は、2021年度34.5%、2022年度35.6%、2023年度39.0%、2024年度42.6%と年度ごとに漸増していましたが、更なる向上が必要な状況でした
- ・課題として、①各診療科における登録パス数が少ないこと、②パス登録のある診療科においても適用率が低いことが挙げられました

D（DO：実施）

- ・パス委員を増員し、特に看護職を中心に体制を強化することで、クリニカルパス業務のエフォート改善を図りました
- ・各年度において、委員会を通じて各診療科へ登録パスの新規作成および追加登録を依頼しました
- ・既存パスを改変し、部分パスを作成するなど、診療実態に応じた運用を進めることで、適用率の向上を図りました

C（CHECK：評価）

- ・クリニカルパス適用率は、2025年1月から7月までは平均約47%まで向上しましたさらに2025年8月以降も上昇傾向を示し、2026年3月単月では55.7%となり、過去最高を更新しました
- ・適用率向上に積極的に取り組む診療科がある一方で、適用率0%の状態が継続している診療科もあり、適用率向上に向けた更なる周知と推進が必要であると評価しました

A（ACT：改善方針）

- ・クリニカルパスの適用が進んでいない診療科については、病院執行部と連携しながら、適切な運用に向けた協力を要請し、院内全体でクリニカルパスの活用を推進してまいります
- ・今後は、クリニカルパス適用数の増加だけでなく、クリニカルパスの分析を通じた医療の質改善にも取り組んでまいります